

聖陵 Sei-Ryou

2024.3 Vol.27
盛岡大学聖陵同窓会報



発行者／盛岡大学聖陵同窓会
事務局／〒020-0694
岩手県滝沢市砂込 808 盛岡大学内
電話 .019-688-5555
ホームページアドレス
<http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/>

CONTENTS

■ 同窓会長あいさつ	1	■ 留学生レポート	2
■ 活躍する同窓生	2	■ 恩師からのメッセージ	3
■ 盛岡大学の今	2	■ 入試情報	4
■ 卒業生は今	2	■ 事務局だより／編集後記	4



English for Studying Abroad



モリダイ DASH 食教室
(氏家ゼミと滝沢市連携事業)



English for Studying Abroad



クリスマス礼拝

盛岡大学卒業第九期生である、桂康博さんは教職を目指し、臨時教員での経験を積み重ね、幾度もチャレンジした結果、教職の道を切り拓きました。現在は岩手県教育委員会に勤務されており、岩手県の復興教育に情熱を傾けておられます。本学においては、昨年開催の盛岡大学公開講座の講師として、六七ページに渡るレジメの内容をご講演いただきました。復興教育という面では、岩手日報（令和六年一月二十二日付）によると、震災を幼少期の頃に経験した、もしくは全く被災経験のない世代にとって、将来教員として、防災・復興教育を担うことに自信がないと回答する大学生の割合が多く

なってきたりとの調査結果があります。被災経験がないほど、その結果は顕著であり、被災地岩手の震災の記憶を風化させないようにすることが喫緊の課題と言えます。

盛岡大学卒業第一期生である、松野まささんは、陸前高田市竹駒郵便局長を務めておられます。竹駒地区は震災当時、甚大な被害を受け、竹駒郵便局もまた、気仙川を遡上した津波により、局舎が流されました。その中で、地元の方々のために、仮設局舎で営業を続けておりましたが、昨年の十二月に新局舎を再建しました。東北の被災3県では、同様に被災した局舎も多くありましたが、竹駒郵便局の再建で、被災した全局舎すべてが再建を果たしたこととなりました。再建が無事完了し、地元の方々と大きな喜びを分かち合ったことと思えますが、地元のために、復興のために奔走し、震災を乗り越えてきた松野さんの今後のさらなる活躍も期待しております。

最後になりますが、約一万五千名の聖陵同窓生の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈り申し上げます。また、今後とも盛岡大学並びに聖陵同窓会への御支援をよろしくお願いいたします。



同窓会長 あいさつ

盛岡大学聖陵同窓会
会長 菅原 元

震災に身を寄せて、人生は七転八起

活躍する同窓生 盛大ドリーム33

令和5年8月4日盛岡さんさ踊り最終日。気温35度の猛暑日の中、盛岡大学・盛岡大学短期大学部卒業生からなる「盛大ドリームさんさ」152名が盛岡さんさ踊り会場に集結しました。年代を超えて久しぶりに再会する友との歓喜に沸く勢いをそのままに中央通りを熱く、現役時代同様にエネルギッシュな踊りで盛岡の夜を盛り上げることができました。夢のような瞬間、まさに“盛大ドリームさんさ”を体現した瞬間でした。

令和5年度盛大ドリームさんさは、過去最多の参加者数となり浴衣が不足する事態となりましたが、現役学生の浴衣を借用し、コロナ禍で本番に出場できなかった卒業生が、在学生用の赤白の浴衣に袖を通すことができました。盛大ドリームさんさの紺・赤・黄色の浴衣と在学生の赤白の浴衣のコラボレーションは、感慨深いものがありました。当日は“優秀賞”

を受賞し、来年の夏に再会することを胸に解散となりました。今年もさらに熱い夏となることが予想されますが、ぜひ、皆様もお誘いあわせの上、会場で熱い声援をよろしくお願い致します。



盛岡大学の今

多文化共生センター設置

令和5年10月1日から盛岡大学・盛岡大学短期大学部事務局に多文化共生センターが設置されました。(大学 A 校舎・LA101教室)

多文化共生センターは学生の海外研修をはじめ、海外留学や協定校からの留学生の受け入れ、学生の国際交流、大学間協定など学生の海外研修や留学などをサポートする部署です。嶺岸玲子所長と事務職員2名で業務にあたっています。当センターでは現在、2名の交換留学生に日本語の指導や生活支援を行っており今後は、在学生の外国語学習支援、学科の海外研修企画支援の他、大学のグローバル活性化事業に取り組んでいく予定です。



交換留学生 オリビア・シキさん

私は以前から言語や外国の文化が大好きだったので、この交換留学に応募しました。また、日本の地に実際に身を置いて学びたいと思っていたので、今回の留学でそれが叶ったと思います。私の母国、カナダでは、多文化共生と多様性であふれています。多くのカナダ人は、カナダには特定の文化的アイデンティティがあるとは思っていません。そのため、日本のような独特の文化や哲学を持つ国に来ることは、学びが多く、有益な経験となりました。盛岡の美しい町を散策し、親切な岩手の人々から日本語を学んで、とても楽しかったです。今でも目が覚めた時に日本にいることが信じられない日があります。本当に夢がかないました。ここに至るまでお世話になった方々に心から感謝したいです。



卒業生は今



文学部 英語文化学科
平成20年度卒業
盛岡大学多文化共生センター 職員
柿本仁美さん

私は在学中、1年間交換留学生としてカナダのカモーンソン大学で英語を学びました。現地で日本語を教えるボランティアをしていたのです

が、うまく教えられないことが悔しくて、帰国後、本格的に日本語教師の勉強を始めました。

卒業後、ロシア、ルーマニア、大阪で日本語を教えました。異なる文化的背景を持った人と接することで、視野が広がるなど得るものが多くある一方で、文化の違いで摩擦が生じることもありました。

私は今、盛岡大学の多文化共生センターで日本語を教えています。過去の経験から、日本語を教えることを通して、相手の文化を知り、互いを受け入れ、寄り添うことの大切さを伝えられればと思って仕事をしています。外国語、外国人に限らず様々な背景を持つ人が、このセンターでお互いを知り、分かり合い、心地よく過ごす。そのきっかけのお手伝いをすることができれば嬉しいです。

留学生レポート



交換留学生 カーディナル・ヨシカズさん

私の父、カーディナル・ダンカンは1997年に盛岡大学の留学生でした。父はこの留学で、日本語が上進しただけではなく、学校の活動やホストファミリー、友達との生活を通して、ただ本を読むだけでは得られないことをたくさん学べたそうです。その話を聞いた

ことで私も留学したいと思い、ここに来ました。

盛岡大学では、日本語と書道と比較文化の授業を取りました。どちらもとても難しかったですが、興味深かったです。日本語の授業をチューターとして手伝ってくれた学生とは友達になり、授業以外でもラーメンや焼き肉を食べに行ったり、手づくり村に行ってお皿と時計の給付けをしたり、学校でクリスマスパーティーをしたりしました。

これらはすべてビクトリアにいたらできなかったことなので、とても貴重な経験になりました。将来は、この経験をいかして、仕事をしながら日本とカナダの両方に住めたらいいなと思っています。

恩師からのメッセージ



文学部 英語文化学科
教授 高橋 幸雄

I was talking with a student (now a linguist and teacher) on the day of Morioka University festival, when an idea of the logic came to me like a flash that the grammar of a natural language is a set of evolutionarily stable equilibria. The wide-area habitat of humans and the narrow-area habitat of koalas are each evolutionarily stable equilibria that can be explained in terms of applied mathematics. I have been applying this method to the diachronic aspect of the rapid expansion of the modern Japanese *mir-er-u* "to see" and the slow expansion of the *kyohi-r-u* "to reject" on the one hand, and to the broad synchronic stability of [tanin goto] "someone else's problem" and [bjaku-ya] "midnight sun" on the other, in order to compute theoretical consequences.



栄養科学部 栄養科学科
教授 太田 徹

卒業生の皆さんには、これからも幅広い知識を学び、社会でその知識をどのようにして活用したらいいかを常に考え行動してみてください。自身もこれまでに生理学・生化学、栄養学、薬学や代謝学などいろいろと学んできました。考えてみれば20歳代から専門の先生に教えていただきたいことがあったとき、手紙を書いて訪問したものです。当時の先生方には迷惑だったかもしれませんが、いずれの先生も丁寧に教えていただき、すいぶん新しいことを見つけることができました。皆さんも知りたいことがあれば積極的に学んでみてください。これからの皆さんの活躍を期待しています。



文学部 児童教育学科
教授 小林 みゆき

音楽と共に

盛岡大学には、37年間お世話になりました。ドイツで10年間過ごして盛岡に赴任したので、最初は当時の流行歌もわからず、変な教員とみられていたと思いますが、やさしい盛岡大学の教職員と学生さんたちに恵まれて、無事今日まで勤めを果たすことができました。感謝申し上げます。大学礼拝、音楽の授業、そしてピアノのレッスンを通して、音楽が私たちの心を癒し、時には、大きな喜びを与え得る存在であることを実感いたしました。その実感と共にした卒業生の皆様から時折お便りを戴くと、うれしい限りです。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



栄養科学部 栄養科学科
ウエルネスセンター 所長
教授 久保木 眞

盛岡大学における7年間を振り返って

このたび私は、盛岡大学を退官することとなりました。この場をお借りして、支えていただいた皆様に心から感謝の意を表したいと思います。私は数々の思い出に溢れる日々を過ごすことができました。この貴重な経験は私の人生にとって大きな宝物です。これからも、同窓会の皆様とのつながりを大切にしながら、新たなステージへと邁進していきます。

同窓会に関わる全ての皆様に、私が果たすことができた役割に対する支援と協力に心から感謝申し上げます。特に、2020年から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ウエルネスセンターでのワクチン接種、感染対策や感染者対応で想像を絶する多大な対応に追われましたが、皆様のご協力のお陰で乗り越えることが出来ました。ウイズコロナ・ポストコロナに向けて学生・教職員の「Well-being」向上を目指し、新たな産官学プロジェクトである「ウエルネス・ジャーニー：Wellness Journey」がスタートしました。未来に向け、地域の発展とともに本学の更なる飛躍を願ってやみません。

最後に、この素晴らしい経験を共有してくださった皆様に心からの感謝を述べたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお祈り申し上げます。



文学部 英語文化学科
准教授 吉植 庄栄

盛岡大学卒業に寄す

縁あり平成30(2018)年4月に盛岡大学に転職しました。学生・同僚・環境に恵まれ、毎日寝食を忘れて勤めました。また3年目から大学図書館の副館長を拝命し、環境向上に尽力しました。また、岩手県の図書館・学校図書館を良くする活動にも努めました。

定年まで勤めるつもりで居ましたが、東北全体の図書館と教育の向上に携わるお誘いを頂き、煩悶の結果、上に昇ることとしました。これからも盛大と岩手のことは、別の立場から携わろうと思います。これからもよろしくお祈りします。

自らが片思ふはつられけど 人にしひるはよりつらきなり



栄養科学部 栄養科学科
准教授 秦 希久子

2017年より盛岡大学に着任し、7年在籍しました。管理栄養士・栄養士養成では重要な位置づけの1つである「給食経営管理論」の授業を担当することは、責任も重く不安もありました。しかし、自分たちで考えた献立を大量に調理して提供した後や臨地実習後など学生の成長を感じる瞬間は私にとって宝物であり、貴重な経験です。

栄養科学科や臨地実習先の先生方にはいつも助けていただき、ご指導とご支援に心から感謝申し上げます。岩手県からは離れますが、今後とも、皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。

同窓生子女等入学金免除制度が新設されます —同窓生子女推薦合格者は入学金が免除に—

盛岡大学では令和6年度に実施する令和7年度入試（令和7年4月入学）から「盛岡大学同窓生子女等入学金免除制度」を創設します。

学校推薦型選抜（旧推薦入試）に同窓生子女推薦枠を新設し、合格者は盛岡大学学業等入試特待生に採用となり、入学金（260,000円）が免除されます。同窓生子女推薦には学校推薦型選抜（一般推薦）の出願資格を満たし、在籍する高等学校長の推薦がある同窓生のお子様および同窓生の弟・妹、または盛岡大学に在学中の兄弟姉妹がいる受験生が出願できます。採用者は各学部学科1～2名です。なお、学校推薦型選抜（同窓生子女推薦）で不合格となった場合は学校推薦型選抜（一般推薦）で再選考されます。

大学の建学の精神を理解した入学者の増加および同窓会と大学との緊密な連携を推進したいとの考えから創設された制度です。進学先として盛岡大学を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひともご検討いただければと存じます。

詳しくは6月下旬に発行される「入学者選抜要項」をご確認いただくか、同時期に更新予定の大学ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。ご質問等ございましたら右記からご連絡ください。

■募集人員（採用人数）

- 英語文化学科 1名
- 日本文学学科 1名
- 社会文化学科 1名
- 児童教育学科 児童教育コース 2名
- 児童教育学科 保育・幼児教育コース 1名
- 栄養科学科 1名

■入試のスケジュール（参考）

- 総合型選抜（専願制） 9月上旬エントリー開始
- 学校推薦型選抜 11月初旬出願開始
- 総合型選抜（併願制） 12月初旬出願開始

※その他1月以降に一般選抜・共通テスト利用選抜の出願受付が開始

盛岡大学入試センター

URL : <https://morioka-u.ac.jp/nyushi/>

Mail : mcnyushi@morioka-u.ac.jp

Tel : 019-688-5560

事務局だより

同窓会員やその保護者様より、大学や大同窓会を名乗った名簿詐欺の情報が寄せられております。同窓会ではこの同窓会報に同封している葉書以外の情報収集を行っておりません。不審な電話にお気をつけください。

令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。上段でお知らせすることができました「同窓生子女等入学金免除制度」は、令和3年に同窓会として「学校推薦型選抜（同窓生推薦）」という入試枠をお願いしたところ、減免制度がついて実現されたものです。盛岡大学を進学先に検討されている場合、こちらの利用も検討してみても如何でしょうか。今号にメッセージを寄せて頂きました6名の先生の他に、栄養科学科の村澤秀樹先生が2023年9月に退職されました。また、同じく栄養科学科の三浦努先生もご退職されます。この場を借りてお知らせいたします。聖陵同窓会の会員は一万四千名を超えておりますが、転居等により会報をお届けできていない会員も少なくありません。同窓生同士でお話する機会などありましたら同窓会報のことを話の端にのせて頂き、「届いていない」という方がいらっしゃいましたら、住所変更登録を助めて頂けると幸いです。また、そのような形で同窓生情報もいくつか届いております。この場を借りて感謝申し上げます。

久慈元理事長は平成7年5月より本法人の評議員を、そして平成9年5月から平成23年10月まで約14年間、理事長を務められました。また、理事長退任後も顧問としてご助言いただいております。

令和4年度 聖陵同窓会決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額
入会金	1,650,000	1,670,000
終身会費	3,300,000	3,340,000
雑収入	20,000	904
特定預金取崩収入	110,748	110,748
計	5,080,748	5,121,652
繰越金	2,689,782	2,689,782
合計	7,770,530	7,811,434

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額
事業費	5,070,000	2,527,621
事務費	10,000	0
通信費	50,000	2,238
会議費	200,000	0
慶弔費	100,000	10,272
旅費交通費	200,000	5,330
財政基金繰入支出	500,000	500,000
計	6,130,000	3,045,461
繰越金	1,640,530	4,765,973
合計	7,770,530	7,811,434



■訃報

学校法人盛岡大学元理事長 久慈次男（くじつぎお）氏が、令和5年8月30日に逝去されました。（享年98歳）

久慈元理事長は当時の本法人が置かれた困難な状況のもと理事長に就任され、財政健全化をはじめとした諸改革に取り組みなど、学園の発展に多大なご尽力をいただきました。盛岡弁の穏やかな語り口に誰もが引き込まれ、その懐の深さに温かさを感じたものです。ここに久慈元理事長のこれまでのご功績に対して、深く敬意と感謝の意を表すとともに、謹んで追悼の意を表します。

編集後記

■編集委員

古里愛子(平成24年度卒)/佐藤大裕(平成12年度卒)/上條尚樹(平成15年度卒)/長谷川健之(平成18年度卒)/川田彩乃(平成20年度卒)/柿本仁美(平成20年度卒)/杉澤佑(平成26年度卒)/梅木梨穂(令和元年度卒)/小棚木沙耶(令和3年度卒)

今年度、本学では久しぶりにカモーン大学からの留学生を迎えました。また、表紙の「English for Studying Abroad」は本年度から設置された英語文化学科の必修科目です。コロナ禍で中止を余儀なくされていた活動が再始動し、活気づいてきた1年でした。次年度も生き生きとした在学生や同窓生の様子をお届けできればいいなと思います。